MAM-761A　ZZB2　2016年4月1日発行

LIXIL

バックチェック機構付 ドアクローザ　取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

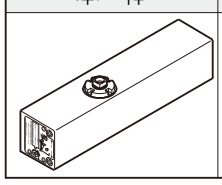
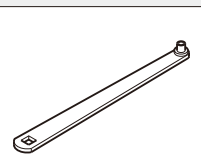
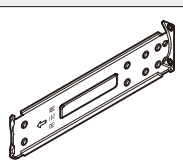
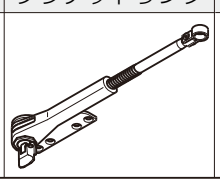
●このドアクローザは、室内側に取付けます。
●本説明書は、外観右吊元用で説明してあります。左吊元の場合も、同じ要領で取付けてください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注 意…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注 意

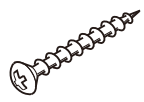
●ドアクローザの落下・故障の原因になりますので、下記事項をお守りください。
・各種取付けねじは、2.0N·m{20kgf·cm} 以上のトルクで必ず締付けてください。
・各種取付けねじは、付属のねじを所定個所に使用してください。
・固着剤付きのねじは、2 度締めしたり、水に触れたものは使用しないでください。
●各速度調整ねじは、左へ 1 回転以上回転させないでください。ねじをゆるめすぎるとドアが急激に閉まり、思わぬケガをするおそれがあります。

■部品一覧表

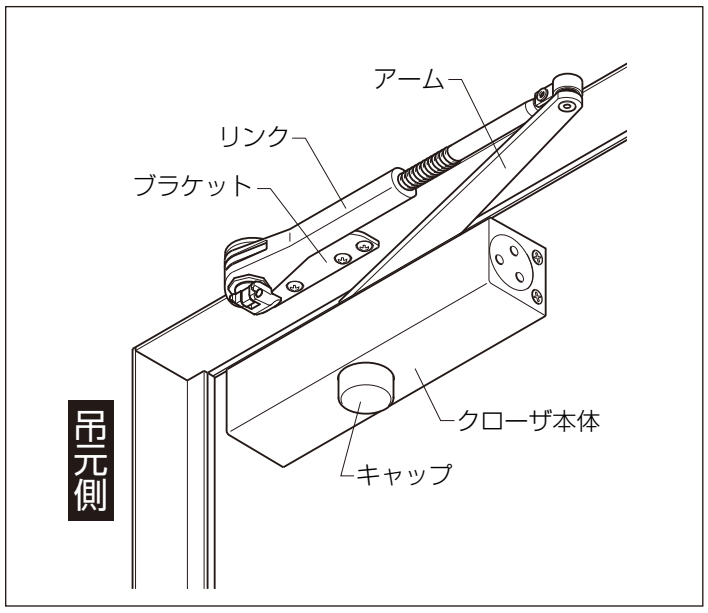
本　体	アーム	本体ブラケット	ブラケットリンク	キャップ	アーム止めねじ
					(2本)

※アーム形状が異なる場合もあります。

■ねじ一覧表

記　号	㋑	㋺	㋩
姿　図	 丸皿タッピンねじ φ5×25	丸皿小ねじM5×16（固着剤付き）	丸皿小ねじM5×12（固着剤付き）
入数	4	4	2

■各部名称



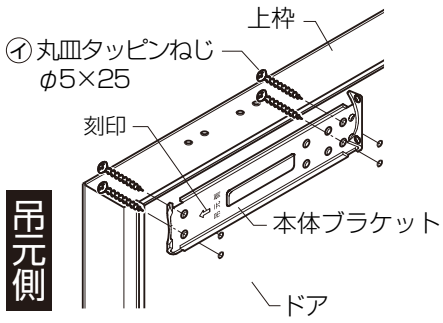
■取付け順序

1 本体ブラケットの取付け

●本体ブラケットの刻印（⇦）を吊元側に向け、ドアに、しっかりと取付けます。

■本体ブラケット止めねじ

※フラッシュドアに使用
㋑丸皿タッピンねじ φ5×25



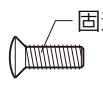
⚠注 意

●本体ブラケット止めねじは必ず締付けてください。
本体ブラケット止めねじの締付けがゆるいと、本体がぐらつき落下・故障の原因になります。

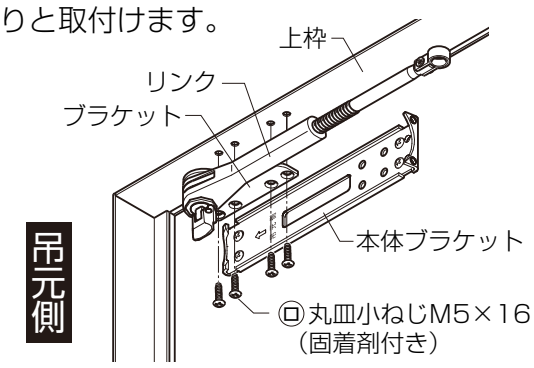
2 ブラケットの取付け

●ブラケットを上枠に、しっかりと取付けます。

■ブラケット止めねじ



固着剤
㋺丸皿小ねじM5×16（固着剤付き）



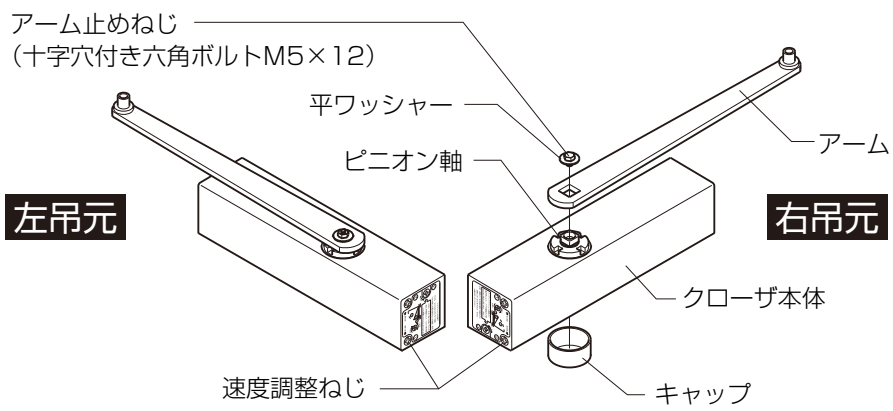
⚠注 意

●ブラケット止めねじは必ず締付けてください。
ブラケット止めねじの締付けがゆるいと、ブラケットリンクがぐらつき落下・故障の原因になります。

3 アームの取付け

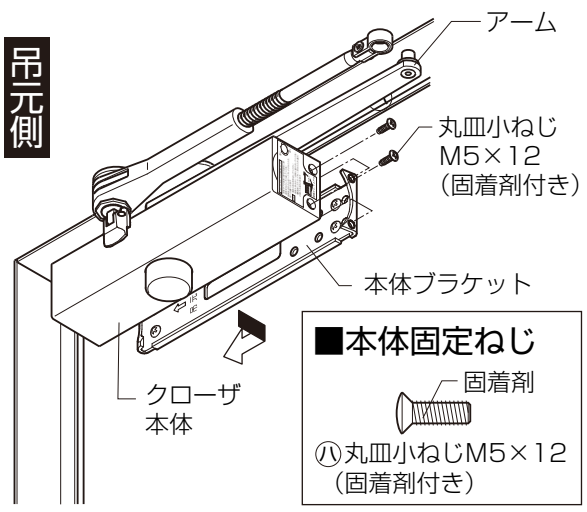
①クローザ本体の速度調整ねじを吊元側に向けます。
②ピニオン軸にアームを右図の向きではめ、アーム止めねじを、しっかりと締付けます。
③キャップを下から取付けます。

お願い
※アームはめ込み時、ハンマーなどでたたかないでください。たたくと破損や油もれの原因になります。
※取付けねじの締付けがゆるいと、アームが外れ故障の原因になります。



4 クローザ本体の取付け

①クローザ本体の速度調整ねじを吊元側に向けます。
②クローザ本体を右図のようにスライドさせて、本体ブラケットにはめ合わせます。
③戸先側から、しっかりと固定します。

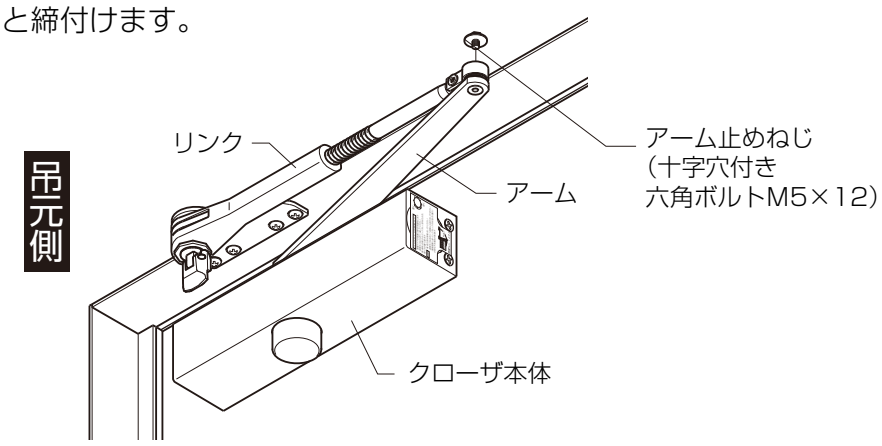


⚠ 注　意

●本体固定ねじは必ず締付けてください。
本体固定ねじの締付けがゆるいと、本体がぐらつき落下・故障の原因になります。

5 アームの連結

●リンク先端の穴にアーム先端のピンを差込み、アーム止めねじを、しっかりと締付けます。



お願い
※アーム止めねじは必ず締付けてください。
アーム止めねじの締付けがゆるいと、アームの連結が外れ故障の原因になります。

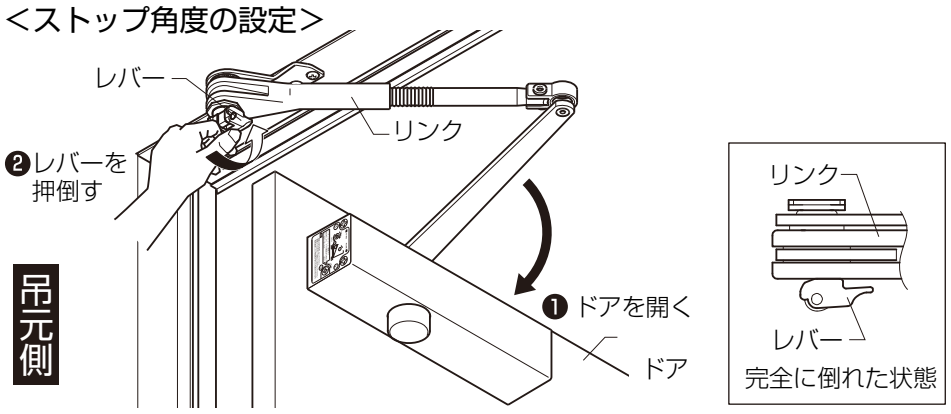
■ストップ位置の設定

1 ストップ角度の設定

①ドアをストップさせたい角度まで開いてください。
②開いた位置でレバーを手で完全に押倒してください。レバーが完全に押倒せない場合はドアを前後にゆすりながら押倒してください。

お願い
※レバーを倒すとき、ハンマーなどでたたかないでください。たたくとストップ装置の故障の原因になります。

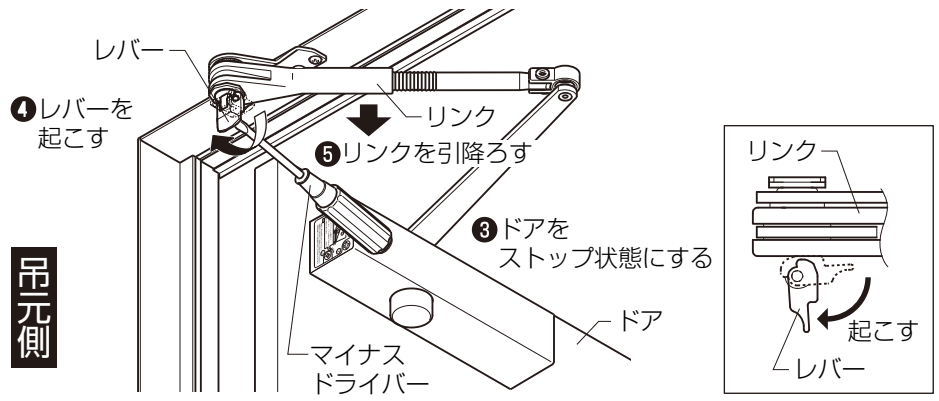
<ストップ角度の設定>



2 ストップ角度を変更（再設定）する場合

③ドアを開きストップ状態にしてください。
④手又はマイナスドライバーでレバーを起こしてください。
⑤ドアを開く方向に押しながら、リンクの⬇部をいっぱいに引降ろすとストップ機構が解除され設定前の状態に戻ります。
⑥再度手順①～②にしたがってストップ角度の設定を行ってください。

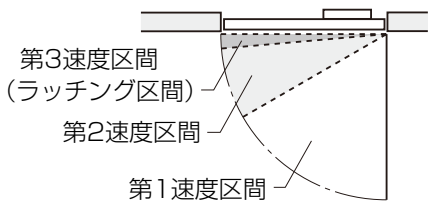
<ストップ角度を変更する場合>



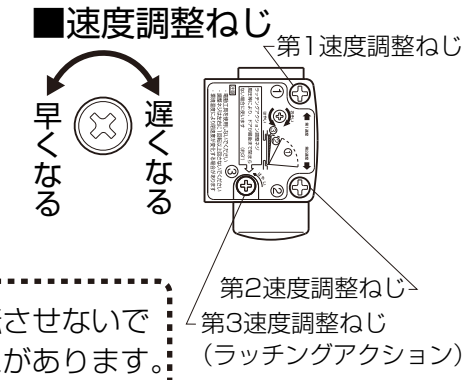
■ドア（扉）閉じ速度の調整

1 閉じ速度の調整

①閉じ速度は、第1速度区間および第2速度区間、それぞれ個別の調整ねじで行います。
②速度調整ねじを左右いずれかに回転させます。適正速度は、ドアの閉じ始めから閉じ終わりまで5～8秒位です。
③特に防火ドア用ドアクローザの場合は耐熱オイルを使用しているため、環境温度によって閉速度の変化が大きくなる場合があります。その際は調整ねじを回転させ閉速度を調整してください。



■速度調整ねじ



お願い
※調整ねじは、電動工具を使用して回転させないでください。調整ねじが破損するおそれがあります。
※調整ねじは、遅くなる方から早くなる方へ調整してください。
※調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。油もれを起こし、正常に機能しなくなるおそれがあります。

2 ラッチングアクションの調整

※ラッチングアクションは、ドアが閉鎖位置直前（約3°）まできた時点でドアを素早く閉める機能です。風が強くドアが閉まりきらない場合などに使用します。
●調整ねじを左へ回転すると、素早くドアが閉まります。

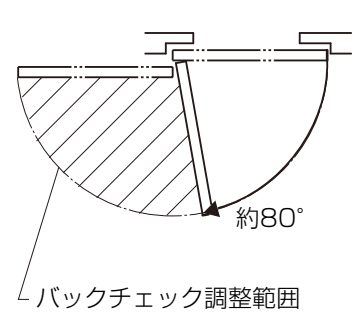
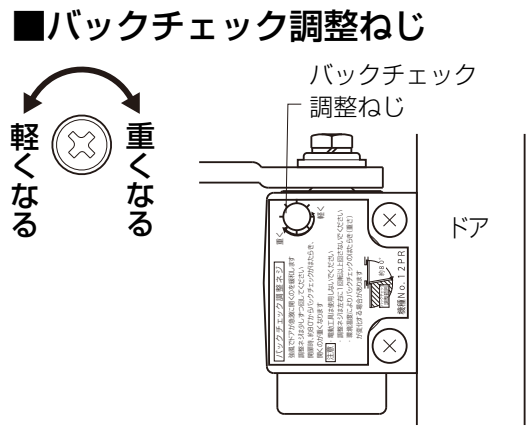
⚠ 注　意

●各速度調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。ねじをゆるめすぎるとドアが急激に閉まり、思わぬケガをするおそれがあります。

■バックチェック強さの調整

①強風などでドアが急激に開くのを緩和するため、バックチェック機構が付いています。
開扉時、約80°からバックチェック機能がはたらき、ドアを開くのが重くなります。
②吊元側と反対側の側面にある調整ねじを、回転させて調整してください。右に回すとドアを開くのが重くなります。左に回すと軽くなります。
③特に防火ドア用ドアクローザの場合は耐熱オイルを使用しているため、環境温度によっては、バックチェックのはたらき（重さ）の変化が大きい場合があります。その際は調整ねじを回転させ強さを調整してください。

お願い
※バックチェック調整ねじは、電動工具を使用して回転させないでください。バックチェック調整ねじが破損するおそれがあります。
※バックチェック調整ねじは、左右に1回転以上回転させないでください。
強くなる方向に1回以上回してバックチェックを繰返し使用すると、ドア本体・枠に力が加わり製品に変形がおきる場合があります。
弱くなる方向に1回転以上回すと油モレを起し、正常に機能しなくなるおそれがあります。



■バックチェック調整ねじ